



 KINKAN GROUP

CSR報告書 2018-19



# キンカングループは環境サービス全般を通して、 持続可能な社会の実現のため日々活動しています。

## 【目次】

- 01. トップメッセージ
- 02. 沿革、CSR活動のあゆみ  
受賞歴
- 03. 環境マネジメントシステム(EMS)
- 05. ISO14001 目的・目標
- 07. 自然環境
- 10. 地域社会
- 12. 共働
- 13. 環境学習
- 15. 労働環境
- 18. コンプライアンスへの取り組み
- 20. 第三者意見
- 21. 事業概要
- 23. 施設・設備
- 25. 物流部門
- 26. 施設設備

## 【トップメッセージ】

まずはこのCSR報告書を手に取り、お目を通し頂いた全ての方に御礼申し上げます。  
また、日頃から我々をお支え頂いているステークホルダーの皆様にも重ねてになりますが、感謝申し上げます次第であります。

さて、本年もこのようにCSR報告書の発行をすることが出来ました。毎年当たり前のように発行しているように思いますが、決して当たり前という事はなく、常にブラッシュアップをしながら、過去の検証と未来を描けるように注意して発行させて頂いております。

その中で特に注目すべき点がSDGsであります。昨年もこの理念に賛同し、報告書にも反映させて頂いておりましたが、今年は最大限に報告書にも落とし込みをさせて頂きました。SDGsとは、もちろんご存知かも知れませんが、2015年に国連で採択された2030年までに世界中の人や企業が達成すべき17の目標と168のターゲットであります。このグローバルな視野で地域の事業活動を図る「ものさし」として、我々はSDGsに賛同し、また自社の事業に活用させて頂いております。

また、55周年の折に発表させて頂いた「サステナブル55」というスローガンに関しましても、このSDGsの理念をもとにしております。このスローガンのもと、我々は持続可能な事業発展への投資として、まずは創業以来の事業である廃棄物処理に関して、既存施設のアップデートや新しい処理施設の導入を決定いたしております。これはまさしく時代や社会のニーズを反映したハードの強化であります。もうひとつは多様性を重視した人材育成というソフト面の強化として、採用から教育をひとつの人材育成として、より多くの知識を学べ、色々な経験ができる環境を整えています。ひとりでも多くの社員が知識と経験を知恵に変え、地域社会に貢献できる事業展開を拡げてまいります。この持続可能性(サステナビリティ)と多様性(ダイバーシティ)の両輪をもって、これからのキンカングループを、100年企業となるべく牽引して参る所存であります。

これからもこの滋賀に必要とされる企業であり続けるために、琵琶湖を愛し、地域をともに発展させていくことをここにお約束させていただき、ご挨拶に代えさせて頂きます。

今後ともキンカングループをよろしくお願い致します。

近畿環境保全株式会社  
代表取締役社長

株式会社湖南リサイクルセンター  
代表取締役

西村忠浩



【報告対象期間】  
2017年度(2017年5月1日~2018年4月30日)  
※関連する報告で一部この期間が前後している場合もあります。  
【報告対象組織】  
KINKAN GROUP 全社  
【発行】2018年10月

## 【沿革】

- 1962年 創業者の西村裕司が「西村商店」として京都市内で廃棄物回収の事業を始める。
- 1975年 近畿環境保全株式会社を設立。
- 1994年 滋賀県で産業廃棄物中間処理業の許可を取得。破砕機と焼却炉で事業を開始。
- 1998年 中間処理業の許可に品目追加。【廃プラスチック類と感染性廃棄物の焼却】
- 2001年 「有限会社新生」を設立。プラスチックリサイクル事業に本格的に乗り出す。
- 2002年 湖南省に「近畿環境保全株式会社 石部リサイクルセンター」を竣工、  
2003年より本格的に事業開始。
- 2005年 京都市における一般廃棄物収集運搬業を分社し、有限会社ラゴを設立。  
石部リサイクルセンターを別法人に分社化、「株式会社湖南リサイクルセンター」  
として現在に至る。この時に子会社の新生も合併。総合リサイクルセンターとして  
事業拡大。
- 2008年 株式会社きぶらを設立し、5月より廃木材をチップ化しリサイクルする新工場を竣工。
- 2009年 西村忠浩が近畿環境保全株式会社の代表取締役社長に就任。  
西村裕司が近畿環境保全株式会社の代表取締役会長に就任。
- 2011年 株式会社きぶらの木材チップ製造施設を株式会社湖南リサイクルセンターに譲渡。  
湖南リサイクルセンターにおいて、木くずの破砕施設許可を追加取得。
- 2012年 創業50周年事業を行う。
- 2013年 食品リサイクル施設「F.R.O.Gセンター」を竣工。
- 2017年 創業55周年を迎える。  
営業本部を湖南リサイクルセンター内から、草津市野村へ移設。

## 【CSR活動のあゆみ】

- 2005年 ISO14001 認証取得
- 2006年 廃植物油の回収・BDFプロジェクト開始
- 2007年 小学校における環境学習の開始 / 琵琶湖環境ビジネスメッセ参加開始
- 2008年 社内環境ポイント制度開始  
カーボンオフセット開始 (内モンゴルにて植林)
- 2009年 環境報告書の第一号を発行 / 琵琶湖森林づくりパートナー協定  
エコキャップ推進運動開始 / 愛する地球のために約束する協定  
滋賀グリーン購入ネットワーク 入会 / グリーン電力を3年間利用
- 2010年 ヨシでびわ湖を守るネットワーク参加 /  
循環型社会創造研究所えこらとの協同事業開始  
滋賀レイクスターズ支援開始 エコステーションの設置
- 2011年 いしへ共働作業所 障がい者雇用開始
- 2013年 コナン市民共同発電所へ出資
- 2014年 太陽光発電パネル設置
- 2015年 琵琶湖森林づくりパートナー協定 5年間延長
- 2016年 中間処理棟へLED照明の導入

## 【受賞歴】

- 2011年 第3回草津市地球温暖化防止大賞 優秀賞 受賞  
第2回しが低炭素リーダー賞 受賞
- 2012年 第4回草津市地球温暖化防止大賞 優秀賞 受賞
- 2014年 公益財団法人 全国産業廃棄物連合会  
青年部協議会 CSR2プロジェクト  
コンプライアンス部門 受賞 社会貢献部門 受賞



**100**  
**サステイナブル 55**  
~100年企業を目指して~





# 〔EMS〕環境マネジメントシステム

キンカングループは事業を行うことにより、環境や社会へ影響を与えています。そのために環境に配慮した経営を実施し、環境マネジメントシステム (Environmental Management System) を導入しています。ISO14001の取得はもちろん、スタッフ一同参加できる様々な活動や地域振興に取り組むことも心掛けています。



## 人と地球に“いい”コミュニケーションパートナー

かけがえのない地球を大切にしたい。そんな思いを実現するためにキンカングループは環境に配慮した経営を目指します。

### 〔 KINKAN GROUP 基本理念 〕

当社は、資源リサイクルと廃棄物の収集運搬及び、中間処理業を三本柱とし、適正に再資源化、処理を行ない、循環型社会の構築に努めます。人と地球に「E-COmmunication Partner」というキーワードを基に、お互いがパートナーシップを築き、未来への可能性を広げて、私たちの地域社会や自然環境を愛する活動の実現と、自然との共生を目指します。



この気持ちをスタッフ全員が心に刻み、環境問題とともに積極的に挑戦していくグループであり続けます。

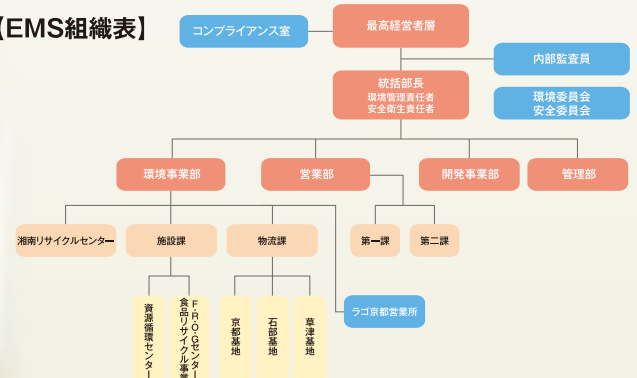


### 【 環境活動方針 】

- 1 廃棄物を資源と認識し、適正に再資源化、再利用、再生利用、処理することに努めます。  
① 資源の有効利用と、社内から出る廃棄物の分別及び資源ごみの再資源化に努めます。  
② 中間処理後の産業廃棄物のリサイクル向上に努めます。
- 2 地域に根ざした環境事業の推進で、地域社会の貢献に努めます。
- 3 環境関連法規制・条例及び当社が同意するその他の要求事項を遵守します。
- 4 事業活動から生じる環境負荷を低減するため、具体的な環境目的及び目標を定め、環境マネジメントシステムを継続的に改善することにより環境汚染の予防に努め、環境保全活動を推進します。
- 5 全構成員が、環境保全事業に従事する自覚を持ち、常に環境に配慮した行動を心がけるよう周知し、環境に関する教育及び啓蒙を行います。
- 6 本方針を実行し、維持し文書化して、全構成員に周知徹底するとともに、社外にも情報開示します。

2017年5月1日  
代表取締役 西村 忠浩

### 【EMS組織表】



#### 【適用サイト】

- 近畿環境保全株 草津本社工場:滋賀県草津市青地町字六反田196番地
- 近畿環境保全株 営業本部:滋賀県草津市野村1丁目3番2 SKキューブ2-B
- 近畿環境保全株 石部営業所:滋賀県湖南市石部口3丁目6番13号
- 近畿環境保全株 京都営業所:京都市南区上鳥羽角田町55番3
- 近畿環境保全株 F.R.O.G.センター:滋賀県湖南市石部口2丁目277番1
- 株湖南リサイクルセンター:滋賀県湖南市石部口3丁目6番13号
- 南ラコ本社:滋賀県草津市青地町字六反田196番地
- 南ラコ京都営業所:京都市南区上鳥羽角田町55番3

### 【スタッフコメント】

営業部・環境事業部 統括部長 西村 篤  
「2017年SDGsの取り組みについて」

2017年は現在の私達のEMSの取り組みがSDGsに対し、何に該当するのかを定義付けを行いました。様々な取り組みがSDGsの枠の中で新たな意味があることを知ることができたこと、目指しているものの方向を改めて指し示してくれました。今後はそれらの目標に対しどれだけ達成できたのか、また、新たに取り組むべきものは何かをグループの一人ひとりが考え行動していきます。





当グループでは、廃棄物の適正な処理やコンプライアンスの徹底、リサイクルの推進などに努め、環境への負担を減らしながら、お客様やステークホルダーの皆様へよりよいサービスの提供を目指しています。それには、労働環境の改善や福祉への取り組みを推進し、安心して楽しく働ける職場づくりに努めています。

また、当社では、社会貢献および教育活動に力を入れています。廃棄物処理のプロとして、地域社会と次世代へ良い影響をもたらすことができるよう、キンカングループだからこそできる取り組みを行っています。

滋賀県で活動している会社として、滋賀県の自然環境を守ることは不可欠であり、常に当社でできることを考え、びわ湖や森林などの保全活動を行っています。また、地域とのコミュニケーションを図りながら、応援活動やイベントへの参加を推進しています。かけがえのない地球を大切にしたい。そんな思いを実現するためにキンカングループは環境に配慮した経営を目指します。



## キンカングループは国連の持続可能な開発目標 (SDGs) に取り組んでいます。

### パートナーシップ

17 パートナーシップで  
目標を達成しよう



### 経済



### 社会



### 地球環境



## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

【SDGsとは】SDGsとは「Sustainable Development Goals」(持続可能な開発目標)の略称です。SDGsは2015年9月の国連サミットで採択されたもので、国連加盟193か国が2016年~2030年の15年間で達成するために掲げた目標です。(一般社団法人イマコラポHPより)

8 働きがいも  
経済成長も



#### 目標8「働きがいも・経済成長も」

性別や障がい、国籍などにとらわれず、誰でも安心して働ける職場作りを行うことにより、目標8に貢献していきます。

12 つくる責任  
つかう責任



#### 目標12「つくる責任・つかう責任」

当グループの本業では、廃棄物の適正な処理やコンプライアンスの徹底、リサイクルの推進などに努め、環境への負担を減らしながら、「つくる責任・つかう責任」の目標12に貢献していきます。

7 エネルギーをみんなに  
そしてクリーンに



#### 目標7「エネルギーをみんなに、そしてクリーンに」

再生可能なエネルギーへ投資することにより、「エネルギーをみんなに、そしてクリーンに」の目標7に貢献していきます。

5 ジェンダー平等を  
実現しよう



#### 目標5「ジェンダー平等を実現しよう」

性別や障害、国籍などにとらわれず、誰でも安心して働ける職場作りを行うことにより、目標5に貢献していきます。

4 質の高い教育を  
みんなに



#### 目標4「質の高い教育をみんなに」

次世代への環境教育やスタッフ向けの研修に力を入れることにより、「質の高い教育をみんなに」の目標4に貢献していきます。

15 陸の豊かさも  
守ろう



#### 目標15「陸の豊かさを守ろう」

自然環境を守ることは不可欠であり、びわ湖や水源である森林、水を浄化してくれるヨシの保全活動に参加し、目標15及び目標6に貢献していきます。

6 安全な水とトイレ  
を世界中に



#### 目標6「安全な水とトイレを世界中に」

13 気候変動に  
具体的な対策を



#### 目標13「気候変動に具体的な対策を」

当社における水害対策を充実させ、エコスタッフジャパン認定企業同士の災害時の支援を行うBCP協定を結びました。



国連で決められた  
世界の目標に一日でも  
早く近づけるよう、  
キンカングループ全体で  
努力していきます。



## 【目標1】



### 環境ポイント運動

目標：13,000  
実績：13,419



スタッフ全員で資源物回収運動を行っています。

社員に缶、ペットボトル、新聞などの資源物を家庭から収集してもらい、個数や重さに応じてポイントを付与しています。他にも、環境に関するイベントや清掃活動に参加することでポイントが与えられます。毎年、最も積極的に参加した20名の社員を表彰するなど、社員の士気を高めています。

2017年度の目標はスタッフ全員で合計13000ポイントを獲得することでした。実際集まった環境ポイントは13,419ポイントとなり、目標を達成することができました。

## 【目標2】



### 低公害車輛の導入

目標：3台 (3年間)  
実績：1台注文

環境への負担を減らすため、車輛の購入も低公害車輛を導入しています。

当グループの業界では運搬車輛が不可欠ですが、できる限り、車輛の環境への負担を減らすことに努力しています。そのため、古くなった車両を新しい、低公害車輛に交換しています。

2017年度から2019年度までの3年間の間、低公害車輛を3台増車を目標を立てて、2017年度には1台を注文しました。

## 【目標3】



### 情報ポイント

目標：111件  
実績：90件

営業部での情報発信を推進しています。

営業部では、当グループの情報をCSR報告書やホームページ、SNS、産廃情報ネットなどを通じ、お客様やステークホルダー、地域の方々に対して幅広く発信し、情報ポイントを付与しています。2017年度の目標は111でしたが、実際の合計ポイント数は90となりました。

昨年より増えていますが、さらに積極的にSNSなどを利用して当グループの良さやお客様に役立つ情報を発信していきたいと思っています。

## 【2017年度 キンカングループのリサイクル現状】

### 産業廃棄物のリサイクル

産業廃棄物の中間処理に特化した湖南リサイクルセンターにて年々リサイクル率の向上に努めています。

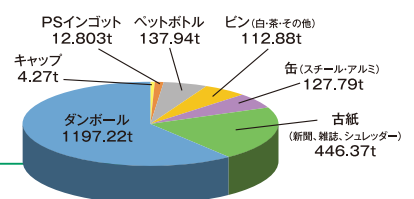


2017年度  
マテリアルリサイクル率 ……29.5%  
リサイクル率 ……57.8%

残念ながら、リサイクル率は下がってしまいました。

### 資源ごみのリサイクル

分別を推進して、資源ごみのリサイクルを向上します。



2017年度  
資源ごみの  
合計リサイクル量 ……2039.4t

ISO14001では、組織を取り巻くすべてのヒト（地域住民、ステークホルダーなど）及び自然（水、空気など）に対し、組織が与えている影響を明確にし、悪い影響を与えているところにおいて目標を立て、問題を改善していく仕組みを作っています。2017年度より3年間新たな期間を始め、6つの目標を決めました。



### 【目標4】NEW

契約数 **2** 件

#### 最終処分場、再中間処理先の開拓

目標：2件  
実績：3件



安定的な処分先の確保に取り組んでいます。

新しい最終処分場、再中間処理先を追加することにより、安定的な廃棄物処理をお客様に提供いたします。2017年度の目標は2件であり、実際に3件を追加することができました。

### 【目標5】NEW

**715**t 回収

#### 食品廃棄物搬入量の増加

目標：715t  
実績：833t



食品リサイクルを推進しています。

SDGsの目標の中で食品ロスを減らすことは非常に大事な課題の一つです。当グループのFROGセンターで行っている食品リサイクルの量を増加できるように努力しています。目標は715tでしたが、実績は目標を上回り、833tになりました。

### 【目標6】NEW

**1** 件以上提出

#### 「KINKANよくするプロジェクト」課題抽出の推進

目標：1件以上  
実績：2件



職場環境の改善に取り組んでいます。

スタッフ自ら職場をよくしようとする気持ちを推進するために、「KINKANよくするプロジェクト」に取り組んでいます。改善案を1件以上提出してもらう事を目標にし、2件の提出がありました。

### 木くずのリサイクル

木材パレットや建設系廃木材の木くずをより効率的に再利用するために、専用の破砕施設を設けています。



2017年度 リサイクル量 ..... 3670.9t  
リサイクル率 ..... 100%

当グループに搬入される木くずは2017年度に減ってしまいましたが、木材の100%を原料か燃料として搬出することができました。

### グリーン購入

環境に配慮した商品の購入を推進しています。



2017年度 グリーン購入率 ..... 83.2%

グリーン購入率は、昨年よりさらに向上し、2017年度83.2%でした。



15 陸の豊かさも  
守ろう



6 安全な水とトイレ  
を世界中に



# 自然環境

【ターゲット15.2】2020年までに、あらゆる種類の森林の持続可能な経営の実施を促進し、森林減少を阻止し、劣化した森林を回復し、世界全体で新規植林及び再植林を大幅に増加させる。  
【ターゲット15.8】2020年までに、外来種の侵入を防止するとともに、これらの種による陸域・海洋生態系への影響を大幅に減少させるための対策を導入し、さらに優先種の駆除または根絶を行う。  
【ターゲット6.6】2020年までに山地、森林、湿地、河川、帯水層、湖沼を含む水に関連する生態系の保護・回復を行う。【ターゲット6.b】水と衛生の管理に地域の参加を支援・強化する。

## 【自然と生物多様性の保全活動】

滋賀県で事業を行っている当社にとって、地元の自然環境を守ることは私たちの使命でもあります。持続可能な事業を実施するためには持続可能な自然環境が不可欠です。キンカングループは、地元の団体や企業と共にびわ湖や水源である森林にて様々な活動を行っています。

### 森林づくり



#### 豊かな森を願って

2009年より続けている森林づくり活動は8年目になり、2017年度には11月4日に三雲生産森林組合の皆さんとともに下草刈りを行いました。

また、年に一度実施されている伝統事業にも参加し、圏界周りの時に行っているクイ入れ作業を手伝いました。



### ヨシでびわ湖を守る運動



#### 綺麗で安全な水を願って

2010年より毎年参加している「ヨシでびわ湖を守るネットワーク」の活動を2017年度も行い、12月2日と2月24日のヨシ刈りに参加しました。今回の会場はびわ湖に繋がっている西の湖と伊庭内湖でした。ヨシを刈り取ることで、ヨシの水浄化機能の向上とヨシの有効利用も推進できます。



びわ湖のヨシで作った名刺を使用しています！



### 森林の力を活かした地球温暖化防止

森林が元気になることにより、その森のCO<sub>2</sub>を吸収する機能も向上され、地球温暖化防止の効果も上がります。協定による森林整備の内容を毎年滋賀県庁森林政策課に報告し、滋賀県知事よりCO<sub>2</sub>吸収証書をいただいています。

2017年度のCO<sub>2</sub>吸収量は78.67tでした。協定を結んだ2009年から2017年まで、合計500tのCO<sub>2</sub>削減に貢献できました。

「琵琶湖森林づくりパートナー協定」とは、湖南市の三雲生産森林組合と大津市の服部モーターズと共に結んだ協定であり、森林づくりにかかる費用と労働力を提供し、作業を行っています。びわ湖の水源である森林を整備することにより、豊かな森と安全な水を守るように努めています。







### 【スタッフコメント】営業部 営業二課 岡内 勇樹 「森林づくり・ヨシ刈りに関して」

昨年、10月に森林づくり、ヨシ刈りには冬に二度参加させていただきました。  
どちらも足元が悪い中の作業だったので悪戦苦闘しましたが、三雲生産森林組合の方々や、ヨシ刈りでは何度も参加されている方々の支えもあり、滋賀県の実環境整備の一端を担えているという充実感を味わいながら、作業を終えることが出来ました。  
普段の生活ではあまり目にする事のない滋賀県の自然に触れられる良い機会となりましたので、今後はこの機会を昨年より楽しみつつ、良い働きができるよう頑張っておりたいと思います。

このような地道な活動は世界の目標とも一致し、陸の豊かさと安全な水を守ることに繋がります。  
また、スタッフが活動に参加することでびわ湖やヨシへの関心が高まるだけでなく、若手社員が先輩とともに汗を流して活動することで、社内コミュニケーションやチームワークの向上にもつながると実感しています。

## 外来魚駆除



### 固有種の保護を願って

びわ湖の生態系を脅かすブラックバスやブルーギルなどの外来魚を駆除し、固有の生き物や生態系を守り続けていくために、2015年から毎年開催される「外来魚駆除釣り大会」に当グループも参加しています。



2017年5月28日、第16回「琵琶湖外来魚駆除の日」に開催された釣り大会に今年も参加しました。今年は釣れた魚が少なかったのですが、外来魚は減ってきているのではないかと印象を受けました。



外来魚釣果数	
2015年	450匹
2016年	345匹
2017年	509匹
2018年	452匹

※全参加者に主にブルーギル9割、ブラックバス0.5割

## 清掃活動



### 綺麗な環境づくりは綺麗な水に繋がります

当社は、地域の様々な団体や企業とともに湖岸や公園のゴミ拾いをしています。  
また、月に一度、事務所がある4か所にて会社周辺の清掃活動を実施しています。



このような環境保全活動により地域の環境が良くなり、水も道も綺麗になります。地域との距離が近くなり、スタッフの地域における存在感と責任感も生まれてくると信じています。

地域との関わりが愛着に繋がり、地元を守りたくなる気持ちと共に持続可能な社会の実現にも貢献できます。

## 植林による環境保全



### カーボンオフセット

地球温暖化は世界的に大きな問題となっています。キンカングループは中国の内モンゴルにて行われている持続可能な森づくり活動を応援しています。この活動では、当社の収集運搬車両から毎月排出されるCO<sub>2</sub>の約5%を吸収できるカラマツを、月に8本植林していただきます。二酸化炭素排出量の一部に対してカーボンオフセットをし、環境への負担を軽減させます。

植林活動を始めた2008年から2017年度まで912本のカラマツの植林を支援してきました。これは、一年間で約800kg、現在までで198.8tのCO<sub>2</sub>削減量に相当します。植林を通して、地球温暖化防止だけでなく、砂漠化の進行をくい止め、土壌回復による生物多様性の確保など地球環境の保全にも貢献しています。キンカンの森の豊かさを守ることは陸の豊かさを守ることに繋がっていきます。





# 自然環境

[ターゲット7.2] 2030年までに、世界のエネルギーミックスにおける再生可能エネルギーの割合を大幅に拡大させる。

## 【低炭素社会への取り組み】

キンカングループはリサイクル事業の一環としての活動や再生可能なエネルギーへの投資によりSDGsの目標7に貢献しています。

### 再生可能エネルギー



2017年度  
**7.5t**  
CO<sub>2</sub>削減

### 太陽光発電パネルの設置

当社F.R.O.Gセンター内の洗車場施設に約12kwの太陽光パネルを設置し、太陽光発電を行っています。2017年度には14,546kw/hを発電しました。それは約7.5tのCO<sub>2</sub>削減効果となります。



2017年度  
**62.8t**  
CO<sub>2</sub>削減

市民共同発電所式号機

市民共同発電所式号機 発電量

また、2013年度に、地元の湖南市における市民共同発電所式号機に出資しました。出資者として地域の再生可能なエネルギー作りに参加しながら地域の活性化を応援しています。2017年度の発電量120.081kw/hにより62.8tのCO<sub>2</sub>削減になりました。

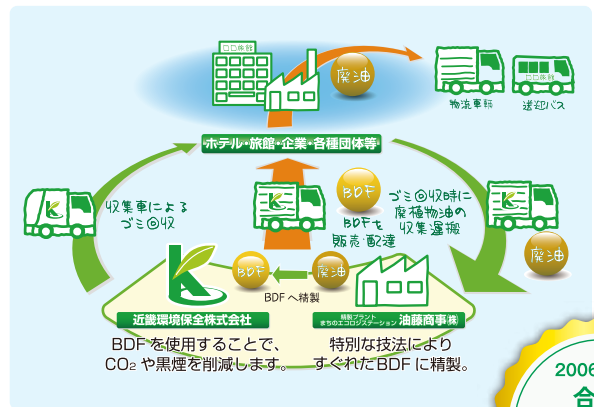
2013年	46,639 kwh
2014年	118,730 kwh
2015年	119,036 kwh
2016年	115,407 kwh
2017年	120,081 kwh

### 低炭素社会への取り組み



### LED照明の使用

湖南リサイクルセンターにて、全水銀灯を長寿命のLED照明に交換しました。



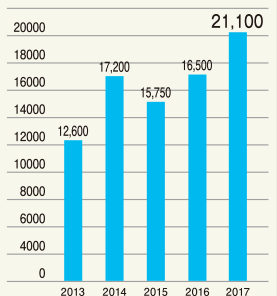
2006-2017  
合計  
**210.5t**  
CO<sub>2</sub>削減

### BDFプロジェクト

地域における循環型社会を目指し、2006年度から廃植物油を回収しています。その廃植物油は滋賀県で精製され、作られたバイオディーゼル燃料 (BDF) は地域やお客様の車輦に使用されています。BDFは新たに二酸化炭素を排出しないため、「カーボンニュートラル」な燃料であると言われています。地域で排出された油を地域でリサイクルし、再利用することにより、循環型社会を実現することができます。

2017年度は、21,100ℓの油を回収しました。軽油の代わりにこのBDFを使う場合、55.3tのCO<sub>2</sub>を削減することができます。

油の回収量 (ℓ)





# 地域社会



【ターゲット12.8】2030年までに、人々があらゆる場所において、持続可能な開発及び自然と調和したライフスタイルに関する情報と意識を持つようにする。

SDGs目標12の8番ターゲットを使命に、様々な場面で廃棄物の適切な処理とリサイクルや持続可能な開発とライフスタイルにシフトできる取り組みを応援し、提案しています。

## スポンサー活動で地域振興

キンカングループは様々なイベントにおいてごみ分別回収し、リサイクルを行っています。試合やイベントの会場内でごみの分別ができるエコステーションを設置し、スポンサー活動だけではなく、来場者と共にできる環境活動も行っています。

活動を継続することにより、会場の美化に効果的でありながら、来場者のごみの分別やリサイクルに関する意識も高まってきたと思います。



### 滋賀レイクスターズ

プロバスケットボールチーム「滋賀レイクスターズ」のスポンサーを、2010年より行なっています。

### Shiga United

2017年度末より滋賀ユナイテッドベースボールクラブでスポンサー活動をはじめ、試合会場のごみの分別回収に協力しています。

### 地域のイベントでのゴミ分別

毎年行われている牛肉サミットやINAZUMA FOOD GP in 草津などのイベントにてごみの分別回収しています。



## 資源ごみ回収で寄付活動 KINKAN GROUPだからこそできる活動で、資源ごみの価値をさらに活かし、地域に役立てます。

2010-2017  
合計  
**217.56t**  
資源物回収



キンカングループは、2010年度より資源ごみでびわ湖の環境保全活動に協力しています。お客様から提供していただいた缶や古紙、段ボール、廃植物油などの資源ごみを、「循環型社会創造研究所えこら」を通じ、びわ湖の環境保全と環境意識の促進に活かしています。えこらは資源ごみのリサイクルで集まったお金を、滋賀県の「マザーレイク滋賀応援基金」と公益財団法人 淡海文化振興財団の「びわ湖の日基金」へ寄付しています。2017年度には、約23.9tの資源ごみを寄付につなげることができました。

**78万円**  
寄付



「循環型社会創造研究所えこら」とは？  
「えこら」では、持続可能な社会の実現を目指して、資源ごみを回収して得たお金をびわ湖の環境保全のために寄付しています。また、環境学習や企業における研修、エコツアーなどを実施しています。

2010-2017  
合計  
**602t**  
資源物回収

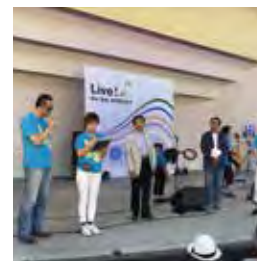


読売新聞の販売店と共同で行っているこのプロジェクトでは、読売新聞を購読されているお客様から古新聞・雑誌などを回収しています。回収した資源ごみをリサイクルしてできた収益の一部を寄付につなげています。2017年度には45.2tの古紙が集まり、草津市まちづくり協議会に寄付しました。



2010-2017  
合計  
**3.7t**  
キャップ回収

毎年京都にて開催される音楽と自然を結ぶ「Live! Do You KYOTO?」にて、当社が回収し引取ったペットボトルキャップ売却益の一部を寄付しました。このイベントを含め、様々な環境イベントを通じて集められたペットボトルキャップは約1,300kgでした。集まった13,000円は「みどりの募金」に寄付しました。こうしたイベントを通じて環境意識が高まることを信じ、これからも協賛していきます。





# 地域社会

[ターゲット12.8]2030年までに、人々があらゆる場所において、持続可能な開発及び自然と調和したライフスタイルに関する情報と意識を持つようになる

## 環境イベントの実施・出展

### 愛する地球のために約束する協定

行政と共のできる活動の一環として、キンカングループの本社である近畿環境保全株式会社では、2009年から地元の草津市と「愛する地球のために約束する協定」を結んでいます。温暖化防止や環境保全への取り組みを約束し、取り組みの結果を毎年草津市に報告しています。

協定に参加している企業や団体は草津市の様々なイベントで紹介されます。取り組みを発信することにより、当社だけではなく、他社や行政の持続可能な開発にもつながる可能性があり、発信を続けていきます。



### 地域との交流

#### 第50回草津宿場まつり「かごかきレース」に参加

草津市の旧東海道、中山道で4月29日に開かれた「第50回草津宿場まつり」における「かごかきレース」に、昨年に引き続き当社の若手社員が参加しました。レースは、スピードだけではなく、衣装のアイデア性やパフォーマンスも争うユニークな競技です。第50回という記念すべきイベントにて「キンカンズ」チームが二度目の優勝を果たしました。地域と交流しながら、チームワークの素晴らしさを楽しく味わえたイベントでした。



### 草津市エコフォーラム

草津市において、環境問題や取り組みなどの最新情報に関する講演会と展示会を含むエコフォーラムが2017年7月21日に開催されました。当社は2011年から毎年出展しており、今年も地元の会社や行政、一般の方々との交流が図れる良い機会になりました。



### びわ湖環境ビジネスメッセ



「環境と経済の両立」を基本理念にし、持続可能な経済社会を目指している「びわ湖環境ビジネスメッセ」に2017年度も出展しました。ご来場の皆様に環境経営の大切さを伝え、安心・安全で、環境に配慮したサービスや当社のSDGs目標への取り組みを紹介しました。

びわ湖環境ビジネスメッセは、まさに「つくる責任・つかう責任」を持っているステークホルダーの集まりであり、このように情報交換や交流することによってSDGsの目標12に非常に大きな影響を与えています。キンカングループはこの場を最大限に利用し、滋賀県の社会づくりに役立てる事業を発信し、展開していきます。

メッセは、地域やお客様と交流する場だけではなく、若手社員の研修の場でもあります。2005年より出展し、毎年若手のスタッフが中心となって、出展の準備と企画を行い、当日は先輩と共に会社の事業を説明したり、接客したりしています。このような教育により、若手社員は自然に成長し、働きがいにもつながっています。



【スタッフコメント】  
環境事業部 施設グループ 主任  
河村 昂介

#### 「振り切ってやって、楽しかった!」

去年このチームで優勝したので、今年もこのチームじゃないと思いませんでした。やっぱり、このメンバーだからこそ、自分も最高を出せました。今年、特別なこともあって… 実は、彼女を呼んでプロポーズしました。大声コンテストがあったので、コンテストの中で、「僕と結婚してください!」と叫びました。これも優勝に繋がったみたいですし、彼女も「お願いします」と答えてくれたので、とてもいい結果になりました。このイベントに出で、同僚ともっと仲良くなりましたし、プロポーズもできたので、一生の思い出になりました。



# 共働

8 働きがいも  
経済成長も



【ターゲット8.5】2030年までに、若者や障害者を含むすべての男性及び女性の、完全かつ生産的な雇用及び働きがいのある人間らしい仕事、ならびに同一労働同一賃金を達成する。

## 【就労支援団体との連携】

### 地元作業所の皆様とともに作業を行っています。

当グループは就労支援団体と連携し、作業所の利用者の方々が安心して働ける安全な職場を提供しています。今年も「しあわせ作業所」様との連携を継続し、資源循環センターにて分別作業などの仕事を共にしています。

また、「就労支援センタールミエル」様と「さつき作業所」様と取り組みを始め、F.R.O.Gセンターにて処理前の準備作業を共にしています。

キンカングループが目指す社会は、誰でも安心して働ける社会であり、そのために性別や障害、国籍などに問われず誰でも活躍できる職場作りに努めることが不可欠です。普段なかなか作業についていないのに、キンカンの作業だけは上手くこなしてくれる利用者もおられます。環境が違って、主になっできる作業ですので、自分のペースでできるからキンカンを選んでくれているそうです。このように、何方でも楽しく働ける場を提供できるように今後も心掛けていきます。

#### しあわせ作業所

勇気と情熱と誇りを持って、一人ひとりの可能性を追求し、利他の心で地域の発展に貢献します

【NPO法人就労ネットワーク滋賀】しあわせ作業所の皆さんとは2014年度より活動しています。2017年度は1日4~5名の利用者が作業されています。



#### 芦田 秀次 様

9月からここにきています。時間が経つがは早いです。ペットボトルを別けるのは一番好きです!他の仕事も探しながら、ここを続けたいと思います。

#### 田郷 佑樹 様

3年以上ここにきています。楽しいし、カンとピンなどを分ける仕事も早くなりました。そして、リサイクルについても考えるようになりました。夏はペットボトルが多くて、冬はカンが多いことにも気づきました。季節問わずにやっぱり楽しいです。キンカンは!ずっとずっと続けていきたいと思っています。

#### さつき作業所

企業と福祉施設との相互理解を進展させ、より良い関係を築く

キンカングループが共働作業をしている作業所では、就労継続支援(B型)を行っています。就労経験のある障がい者に対し、就労の機会を提供するとともに、生産活動に必要な知識や能力を向上するために訓練を実施しています。

#### 清水 雄太 様

1月ごろから働いています。いい感じですよ!これからも続けたいと思っています!



少数精鋭で100%就職を目指す

ルミエルは障害者総合支援法に基づく就労移行支援事業サービスであり、利用者の日常支援と社会生活支援を行っています。2年間の社会生活訓練の中で、企業体験も実施されています。キンカングループはその企業体験に協力し、利用者の方々のコミュニケーション能力を高め、労働経験を積んでいける訓練を応援しています。現在、毎日約5名~10名の方々と一緒に作業しています。



#### 北岸 孝司 様

6月から働いています。だいぶ慣れました!仕事の中で、好きなのは「働くこと」です。前、家で閉鎖してましたが、最近ルミエルさんに寄せてもらうようになって、キンカンさんとバイトするようになって、とてもよかったです。これからも続けていきたいと思っています。

2017年度 作業者数	
しあわせ作業所	10名
さつき作業所	8名
就労支援センタールミエル	18名







# 環境学習

【ターゲット4.7】2030年までに、持続可能な開発のための教育及び持続可能なライフスタイル、人権、男女の平等、平和及び非暴力的文化の推進、グローバル・シチズンシップ、文化多様性と文化の持続可能な開発への貢献の理解の教育を通して、全ての学習者が、持続可能な開発を促進するために必要な知識及び技能を習得できるようにする。

## 子ども向けの環境学習を実施しています。

未来を作っていく子どもたちにとって、教育や体験は非常に重要だと考えています。

当社は廃棄物処理のプロとして持続可能なライフスタイルと持続可能な開発のための教育に積極的に力を入れています。

次世代を担う子どもたちに廃棄物のことやリサイクル方法などを伝えることは、私たちの使命であり、環境意識の向上に繋がると考えています。子どもの頃から環境学習で社会の様々な動きや問題点を知ることにより、自然と責任感が生まれ、まず「つかう責任」、働きだしたら「つくる責任」が発生し、持続可能な社会の実現に繋がっていきます。

また、当社スタッフの教育もこのようなところで充実していきます。子どもたちに自分の仕事を分かりやすく説明することにより、自分自身の仕事に対する理解が深まり、やりがいや責任を感じています。



### 野洲市立三上小学校での環境学習

2017年度には、野洲市の三上小学校にて4年生の環境学習を行いました。今年度で三上小学校を訪れるのは7回目になりました。毎年続けて環境学習を行うことは、学校との連携を深め、より質の高い教育に繋がります。これからも地域の学校における環境教育に積極的に参加し、より良い、持続可能な社会づくりに貢献していきます。

#### ゴミ学習



子どもたちには、まずごみの種類、分別とリサイクル方法について学習してもらいます。

#### 積み込み体験



廃棄物の回収はどうしているのか、ドライバーはどのような仕事をしているのか実感してもらうために、実際に車輦にごみを積み込む作業の体験をしてもらいます。



#### 【先生コメント】 三上小学校 青木美佳 先生

パッカー車体験では、パッカー車にごみを積み込む体験をさせていただいたり、分別したゴミがどんな物にリサイクルされるのかをクイズ形式で学んだりと社会科の学習で学んでいることを体験的に学習することができました。体験後、子どもたちから「分別をしっかりとしよう。」「ゴミを減らすにはどうしたらいいだろう。」などの発言を聞くことができました。

今回の学習を生かして、ゴミの処理についての学習をさらに深め、総合的な学習で「3R運動」に取り組んでいきたいと考えています。子どもたちの環境に対する関心を深める素晴らしい機会となりました。ありがとうございました。



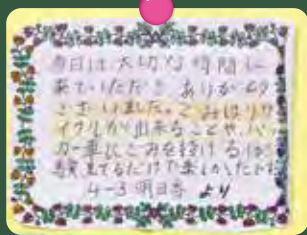
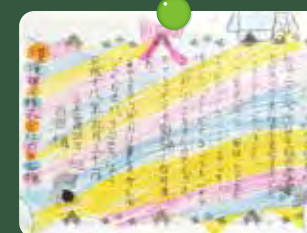
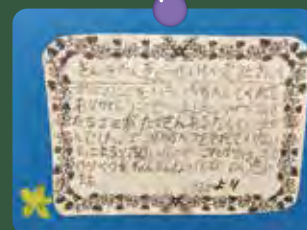
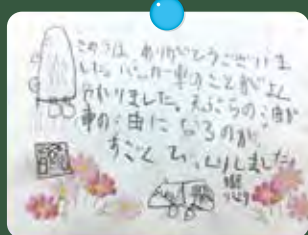
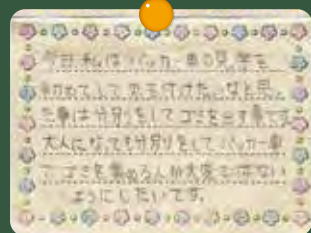




## 野洲市立三上小学校のみなさま



ありがとうございました！



### 訪問実績

2011年 三上小学校へ訪問  
 2012年 草津小学校、治田東小学校、  
 (レイクスキャラバン)  
 三上小学校、守山養護学校へ訪問  
 2013年 三上小学校へ訪問

2014年 菩提寺小学校、三雲東小学校、三上小学校  
 吉身小学校、物部小学校、青山小学校へ訪問  
 2015年 三雲東小学校、三上小学校へ訪問  
 2016年 三上小学校、三雲東小学校へ訪問  
 2017年 三上小学校へ訪問

2011-2017  
 合計  
**9** 校実施

### 分別体験



廃植物油の精製の仕組みを見学したり、プレスされた缶やプラスチックインゴットなどに触れたりすることで、リサイクルを肌で感じてもらいます。



### リサイクルクイズ



クイズ形式でゲームをしながら、知識を深めていきます。

### 【スタッフコメント】営業部 営業一課 木村 健人 「環境学習に参加して」

環境学習に参加して感じることは、子ども達の環境学習に対する意識の高さです。  
 リサイクルクイズや分別体験に積極的に参加してくれて、楽しみながら学ぶ姿を見て私たちも大変嬉しく思います。  
 この環境学習が日常生活の中で積極的に分別を心がけ、環境について考えるきっかけになれば嬉しく思います。  
 今後もより分かりやすく楽しい環境学習ができるように頑張っていきたいと思います。





8 働きがいも  
経済成長も



5 ジェンダー平等を  
実現しよう



4 質の高い教育を  
みんなに



# 労働環境

【ターゲット8.5】2030年までに、若者や障害者を含むすべての男性及び女性の、完全かつ生産的な雇用及び働きがいのある人間らしい仕事、ならびに同一労働同一賃金を達成する。  
【ターゲット5.1】あらゆる場所におけるすべての女性及び女兒に対するあらゆる形態の差別を撤廃する。  
【ターゲット4.4】2030年までに、技術的・職業的スキルなど、雇用、働きがいのある人間らしい仕事及び起業に必要な技能を備えた若者と成人の割合を大幅に増加させる。

## 【職場環境の改善】

スタッフの働きがいと職場の改善を目的に、  
キンカングループは様々な取り組みを実施しています。

### 安全な職場づくり

スタッフが仕事を安全に取り組めるよう、様々な面から職場を分析し、危険なところを減らしています。

毎月1度の安全委員会では、各部署の責任者が集まり、工場や物流、各部署における危険箇所について話し合い、改善策を議論しています。そうすることでスタッフ自らが改善し、安全で働きやすい職場を作っていきます。また、スタッフの安全装備を設定し、事故が起こらないように工夫しています。

ドライバーの安全のため、出発前に健康状態を必ず確認します。また、運搬車両に「みまもりくん」という運行情報を管理するシステムを設置しています。毎日、運転日報が作成され、安全の面とエコの面で運転方法に点数が付けられます。「みまもりくん」によってドライバーの安全運転への意識が高まり、事故防止にも繋がります。



### スタッフの健康の確保

毎年2月にスタッフの健康状態を詳しく調べる健康診断を行っています。また、工場内の粉塵対策および熱中症対策として、こまめな水分補給や作業中の特別なマスク着用、工場内にミストが出るシステムの使用を実施しています。



### KINKANよくするプロジェクト

KINKANよくするプロジェクト(通称:よくプロ)は、自分たちの働く環境を自分たちの手でよくしていくためのプロジェクトです。社内の課題解決と改善を目的として、各部署にて取り組んでいます。

提案された課題と改善方法は各部門別の会議を経て、審査会へ上程され、審査を通過すれば、新たな手順書として運用が開始されます。チームで話し合っ活動することは、職場の改善だけではなく、チームワークの向上にも繋がります、働きがいも湧いてきます。

### 女性が輝いて働ける職場づくり

当グループは仕事と家庭を両立しやすい職場づくりに努めています。女性スタッフが出産後、正社員として続けられるよう、一年間の育児休業を利用できるようにしています。また、パートで働けるシステムを作り、育児をしながら仕事をする女性スタッフを応援しています。



#### 【スタッフコメント】

営業部 販売管理チーム  
八太 亜希子



入社後3度の出産で育児休業を頂き、現在8歳5歳3歳の子供達を育てながら仕事をしています。小学校と保育園で年間を通して行事も多いのですが、お客様や他のスタッフに迷惑がからないよう効率よく仕事を進め、有給休暇を取得させて頂き参観などに参加しています。

仕事では多くのお客様の様々なニーズにそった柔軟な対応が出来るよう日々励み、休日には家族で旅行に出掛けたり、家に帰ってから子供との時間を大切にしています。子育て世代のスタッフも多く、仕事と家庭の両立が出来るのも、周りのスタッフや家族の支えがあったことだと感謝しています。







## 【スタッフのスキルアップ】

スタッフが随時学び、成長できる場を提供しています。

### 社内研修



当グループはISO14001を取得していることにより、スタッフ全員が目的目標を認識し、随時チェックできるようにするために、年に複数回ISO勉強会を実施し、各部署の目的目標を復習させ、達成するために対策を話し合います。



また、リスクアセスメントに関する勉強会を年に2回、消防に関する訓練は年に1回、各グループ会社にて実施しています。また、工場内で使用している重機や機械に関する研修を開催し、メーカーと連携して使用上の重要な知識や効率の良い使用方法を学んでいます。日々の仕事を効率よく行い、危険性にすぐ気づき未然に防ぐ姿勢が、安全な職場づくりに繋がります。

### 社外研修

エコスタッフジャパン認定企業として、様々な社外研修の機会をいただいています。6月30日-7月1日にESJ沖縄:街クリーン株式会社、9月15日にESJ東京:株式会社アンカーネットワークサービス、2018年2月23日-24日にESJ鹿児島:株式会社丸山喜之助商店を見学し、11月10日にヤマトクロノゲートにてドライバー研修に参加しました。

営業研修やドライバー研修、安全衛生研修と合同施設見学会などに参加したスタッフの知識を向上させています。プロ意識を高めることにより、仕事に自信を持ち、よりスムーズに働ける上、お客様にもより良いサービスを提供できるようになります。



ESJ沖縄:街クリーン株式会社にて



ESJ鹿児島:株式会社丸山喜之助商店にて



廃棄物処理・リサイクル「安心・安全」の全国ネットワーク  
**エコスタッフ・ジャパン**  
 全国における認定された優良な  
 廃棄物処理業者のネットワーク



8 働きがいも  
経済成長も



13 気候変動に  
具体的な対策を



# 労働環境

【ターゲット8.5】2030年までに、若者や障害者を含むすべての男性及び女性の、完全かつ生産的な雇用及び働きがいのある人間らしい仕事、ならびに同一労働同一賃金を達成する。  
【ターゲット13.1】すべての国々において、気候変動に起因する危険や自然災害に対するレジリエンスおよび適応力を強化する。

## 【防災対策】

安心・安全な職場・工場づくりを目指しています。



### 火災対策

#### 危険性の把握・防止・削減

当グループにとって最大の危険は火災です。仕事や作業の危険性を把握し、未然に防止し、危険性を削減する対策を行っています。万が一を想定し、緊急事態に対応するための対策手順を策定しています。また、スタッフ全員が手順どおりに実施できるよう、定期的に社内勉強会や訓練を行い意識の向上を図っています。また、火災の原因となる物（ライター、発煙灯等）が廃棄物に混入しないよう、現場と営業が連携してお客様へ搬入禁止物の周知を図っています。

2017年度の秋に湖南リサイクルセンター、資源循環センター及び京都の事務所ラゴの3か所にて消防訓練を実施しました。



### 事故防止 対策

#### 安全委員会や安全パトロールの実施

事故防止のために、毎月1度安全委員会を開催しています。安全委員会は問題点を様々な面や立場から見て、解決方法などを共に考える委員会です。メンバーは環境事業部（物流グループ、施設グループ）、開発事業部、営業部、湖南リサイクルセンターの各担当で構成され、工場内・物流業務等、業務の中に潜む危険箇所を挙げ、改善策を決定していきます。

活動は定例会議のみならず、安全パトロールや勉強会の開催もしています。安全パトロールでは、週1回安全委員会のメンバーが各現場の見回りを行い、危険箇所の写真を撮ったり、改善されたところを確認したりしています。

また勉強会は、各部署で月1回、社内全体では年2回開催されています。危険予知（KY）活動やリスクアセスメントについて学びます。

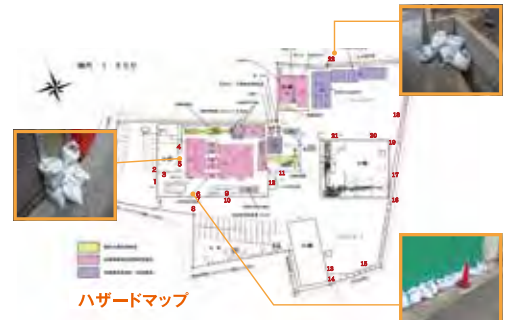


収集運搬の時に油漏れが発生した際、すぐに流出を防ぐことができる吸着セットを全車両に設置しています。

### 水害対策

#### 大雨や洪水などを未然に防ぐ

湖南リサイクルセンターは河川に近く土地も低いことから、水害のおそれのある地域になっています。そのため、水害対策を行い、大雨や洪水などの際に発生する危険性を削減できるように心掛けています。事務所内のフロアの嵩上げ、設備の擁壁の設置等を実施しました。また、災害時の行動マニュアルや工場内のハザードマップを作成し、災害を未然に防ぐように努めています。



ハザードマップ



### BCP協定 (事業継続計画協定)

当グループは所属しているエコスタッフジャパンの認定企業39社でBCP協定を結んでいます。BCP協定とは、「自然災害や不可抗力」により事業活動が継続困難な状況に陥った場合に認定企業が相互に支援し合う協定です。







# コンプライアンスへの取り組み

11 住み続けられるまちづくりを



【ターゲット11.6】2030年までに、大気質、自治体などによる廃棄物管理への特別な配慮などを通じて、都市部の一人当たり環境影響を軽減する。

## 【法的要求事項】

### 安心・安全への取り組み

#### 法律・条例 一覧(五十音順)

- 悪臭防止法
- 各種リサイクル法
- 火災予防条例
- 揮発油等品質確保法
- 計量法
- 建設業法
- 個人情報保護法及び滋賀県個人情報保護条例
- 湖南市環境基本条例
- 滋賀県ごみの散乱防止に関する条例
- 滋賀県生活排水対策の推進に関する条例
- 消防法
- 浄化槽法
- 振動規制法
- 人権教育及び人権啓発の推進に関する法律及び滋賀県人権尊重の社会づくり条例
- 水銀使用製品産業廃棄物に関する廃掃法
- 石綿障害予防規則
- 騒音規制法
- 男女雇用機会均等法
- 電気事業法
- 特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律
- 道路運送車両法
- 道路交通法
- 同和対策特別処置法
- NOx・PM 法
- 廃棄物の処理及び清掃に関する法律
- フロン回収破壊法
- 暴力団等排除条例
- 労働安全衛生法

#### 【騒音レベルと振動レベルの調査結果と評価】

当グループ全社にて基準値をクリアできました。

騒音レベル	近畿環境保全圏	（株）湖南RC	F.R.O.Gセンター	（南）ラゴ
規制基準	65dB	70dB	70dB	70dB
調査結果 （場所/No1）	55dB	53dB	53dB	49dB
（場所/No2）	57dB	60dB	58dB	54dB
評価	○	○	○	○

振動レベル	近畿環境保全圏	（株）湖南RC	F.R.O.Gセンター	（南）ラゴ
規制基準	65dB	70dB	70dB	65dB
調査結果 （場所/No1）	39dB	48dB	36dB	30dB
（場所/No2）	37dB	48dB	40dB	30dB
評価	○	○	○	○

#### 【臭気測定の結果と評価】

当グループ全社にて基準値をクリアできました。

臭気レベル	近畿環境保全圏	（株）湖南RC	F.R.O.Gセンター	ラゴ
規制基準	12	敷地境界線14		
試験の結果 （場所/No1）	10未満	10未満	10未満	10未満
（臭気指数） （場所/No2）	10未満	10未満	10未満	10未満
評価	○	○	○	○

#### 【水質】

放流水に関してもデータ管理を行っており、年一回水質に関する調査を自主的に実施しています。

計量対象項目	単位	計量の結果		計量の方法
		近畿環境保全圏	（株）湖南RC	
ルルマルヘキサノ抽出物含有量	mg/L	0.5未満 (-)	0.5未満 (-)	環境庁告示第64号付表
大腸菌群数(デソ法)※	個/ml	42 (↓)	6 (↑)	厚生省・建設省令第1号
水素イオン濃度		7.2 (↓)	6.9 (↑)	JIS K0102 12.1
(pH測定時試料温度 ※)	℃	19.2 (↓)	21.4 (↑)	JIS K0102 7.2
浮遊物質	mg/L	26.8 (↑)	2.8 (↓)	環境庁告示第59号付表
化学的酸素要求量	mg/L	13.3 (↑)	1.3 (↓)	JIS K0102 17
生物化学的酸素要求量	mg/L	24 (↓)	2 (-)	JIS K0102 21及び32.3
燐含有量	mg/L	0.2 (-)	0.1未満 (-)	JIS K0102 46.3
窒素含有量	mg/L	3.1 (↑)	0.5未満 (↓)	JIS K0102 45.2

※印項目は、計量証明対象外項目です。( )は昨年度と比較。

当グループの事業で環境への負担を把握するために、事業を行っている4ヶ所にて廃棄物の処理および収集運搬の際に発生する騒音・振動・臭気に対して毎年調査を実施しています。騒音規制法・振動規制法・悪臭防止法の基準をもとに調査し、基準値以下となるよう努力しています。又、当社は特定施設にはありませんが、水質汚濁防止法の項目に沿って自主的に水質も測定しています。

2017年度の調査が5月22日と6月27日に行われ、基準値を超えずにクリア出来ました。また、法律と条例を遵守しているかどうか、毎年2月に確認しています。2017年度の確認は2018年2月28日に行い、全ての法律と条例を遵守していると確認できました。

#### 法規制の遵守

事業者の産業廃棄物はその事業者自らが処理しなければならない原則がありますが、処理ができない場合は、廃棄物処理業者に委託することが出来ます。

当グループは排出事業者の皆さまから、収集運搬と処分を委託していただいています。様々な地域における収集運搬業許可と処分業許可を取得し、法を遵守した適正な処理を行っている上、マニフェストによって廃棄物の流れを最初から最後まで管理しています。

遵守確認日

2018年2月28日

評価:

すべて遵守

# コンプライアンスへの取り組み



## 安心・安全な収集運搬 および中間処理

### 処分地の視察

廃棄物を適正に処理していることをお客様がいつでも確認できます。当グループの中間処理だけではなく、最終処分を行っている業者の視察も可能です。

最終処分地の視察は当グループのスタッフも行い、お客様が安心できるように、適正な処理を確認している上、見学の機会をスタッフの研修としても利用しています。

### 工場見学

お客様自身で、処分地を確認することができます

廃棄物処理についての情報をお客様に提供するだけでなく、お客様自身の目で、処分地を確認することができます。ご希望があれば、当グループの施設はもちろん、最終処分地においても視察や確認が随時可能となっています。また、研修や環境学習のための工場見学会も行っています。



### 処分地の確認

最終処分地に赴いての視察、処理の適正さを確認しています。

お客様から安心して処理を任せたいだけのように、最終処分地に赴いての視察、処理の適正さを確認しています。

お客様にご提案するのは、適正さの確認が得られた最終処分地のみとなっています。



## 事業エリア

当グループは産業廃棄物収集運搬、特別管理産業廃棄物収集運搬、事業系一般廃棄物収集運搬、産業廃棄物と一般廃棄物の中間処理許可を幅広く取得しています。

滋賀県湖南エリアや湖北広域、彦根市と愛知郡愛荘町、また京都市における一般廃棄物収集運搬の他、石川県から香川県までの15府県にて産業廃棄物を収集運搬しています。

他の県においても許可更新の際、優良認定を申請していきます。優良産廃処理業者として、厳しい基準に適合しながら、お客様により安心していただけるサービスを提供できるよう、日々の適正処理に取り組んでいます。

当グループは優良産業処理業者に認定されていて、現在9府県において優良認定をいただいています。

### 【産業廃棄物】 収集運搬許可エリア



### 【一般廃棄物】 収集運搬許可エリア



## 許可都道府県及び許可品目

品目	許可都道府県														
	北海道	青森	秋田	岩手	山形	宮城	福島	茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	東京都	神奈川県	新潟県
燃え殻	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
汚泥	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
廃油	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
廃酸	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
廃アルカリ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
紙くず	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
木くず	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
動植物性残渣	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
繊維くず	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ゴムくず	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
金属くず	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ガラス・陶磁器くず	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
びんくず	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ばいじん	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
特管 腐食性廃酸	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
特管 腐食性廃アルカリ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
特管 特定有害廃アルカリ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
特管 特定有害廃酸	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
特管 特定有害廃石綿等	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

品目	滋賀県	京都府	京都市	大阪府	兵庫県	奈良県	岡山県	広島県	山口県	香川県
産業廃棄物 特別管理産業廃棄物 収集運搬業	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
近畿環境保全(株)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

品目	滋賀県	京都府	京都市	大阪府	兵庫県	奈良県	岡山県	広島県	山口県	香川県
一般廃棄物 収集運搬業	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
近畿環境保全(株)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

品目	滋賀県	京都府	京都市	大阪府	兵庫県	奈良県	岡山県	広島県	山口県	香川県
中間処理業	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
近畿環境保全(株)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

品目	滋賀県	京都府	京都市	大阪府	兵庫県	奈良県	岡山県	広島県	山口県	香川県
中間処理業	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
(株)湖南リサイクルセンター	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

## 優良産廃処理業者認定制度を活用して適正処理を進めていきます

優良産廃処理業者認定制度とは、通常の許可基準より厳しい基準に適合した優良な産廃処理業者を、都道府県・政令市が審査して認定する制度です。

優良産廃処理業者認定制度の認定を受けるためには、下記の基準に適合する必要があります。

- ① 遵法性
- ② 事業の透明性
- ③ 環境配慮の取組
- ④ 電子マニフェスト
- ⑤ 財務体質の健全性 ※詳しくは環境省HPにて

現在、優良認定がある府県 石川県、岐阜県、静岡県、愛知県、大阪府、兵庫県、奈良県、広島県、山口県、滋賀県(特管のみ)



当社許可について詳しくは sanpainet.or.jp を御覧ください。

※2018年9月現在



## 【第三者意見】

# 風かおる 氏



【プロフィール】有限会社ガイアコミュニティ〜ふうどこむら〜主宰

●カードゲーム「2030SDGs」公認ファシリテータ ●チェンジ ザ ドリーム シンポジウム ファシリテータ ●心理カウンセラー、パーマカルチャーデザイナーほか、●滋賀県「未来戦略サロン」ファシリテータを歴任。●WSデザイナー ホリスティックな食の提供、手仕事や対話のWSなど多彩に活動。

小学生の頃から「心」と「環境」のことが気になり、高校の文化祭で「リサイクルの小物」を販売。現在は、2010年より滋賀にて、自給自足的な生き方を目指し、自然農たんぼやパーマカルチャー菜園をしながら、エネルギー自給も含めた「小さな暮らし」のための小屋づくり・タイニーハウス暮らし（建設中）を始める。

滋賀県には、こんなに素晴らしい業務をされているキンカングループという会社があるという事を、報告書を通して知る機会を得ました事をとても嬉しく思います。

キンカングループでは、3K（環境・感動・改革）を理念として、長年にわたり実行されているということで、既にSDGsの視点で業務を進めて来られているという事に2030年への希望を持ちました。

- ・義務ではないのに、自主的に水質の調査を10年以上前から実施していること
- ・SDGsが採択される前から食品ロスに取り組んでいること
- ・バイオガス発電を目指して新しい事業に挑戦していけること

また、この報告書に対して更に好印象を持つことが出来たのは、目標に向かっての進捗過程の中で未達成もきちんと表現されていることでした。問題を明らかにする事によって、課題を明確にすることはとても大切なことです。過去から未来へ、これからも3Kを理念として積極的に進んで行かれる姿をこれから見守らせていただきたいと強く感じました。

子ども達への環境教育についても、楽しく解りやすく伝え続けていらっしゃる姿も本当に素晴らしい活動です。更に言えば、ぜひコンプライアンスまで子供達に説明して欲しいのです。何故なら、例えば洋服を集めて発展途上国の子どもたちに送る運動があります。でも、その洋服のほとんどはバングラデシュなどで、ごみの山になってしまっています。送った先の国が潤うために受け入れ続けています。最終的には届いた洋服は望ましいところには辿り着いていないということが起こっています。コンプライアンスをきちんとされていることはとても大事なことです。SDGsの第一の目標は貧困をなくすことであり、“世界中の全ての人”が主語になっています。そして、大切な事はもう一つ“誰一人取り残さない”。その為に“最後の人を最初に”です。是非、子供達への環境教育を通してこの事を伝えていてもらいたいです。

### Why? 何故SDGsなのか?

全ては繋がっています。なぜ「私」たちが・・・キンカングループがSDGsに取り組むのか? 別々に見えることも、全て繋がっています。世界の全ては繋がっています。この報告書から、キンカングループはその事を既に知っていると感じました。だからこそ、次のステップに行ける。次なる報告書では、繋がりを持った絵を描くことが出来ると思います。

### SDGsの可能性!

世界の状況の見える化です。早くからキンカングループが取り組み続けていらっしゃる数値の見える化は、今後の指標づくりの基盤に有効です。見える化している数値をもっと広く公に見える化して行くと早く広く、世界中がSDGsに向かうことが可能になります。

SDGsは、2030年に向けてのバックキャストのプログラムです。「改善します」とか、「努めます」などはフォアキャストにあたります。SDGsに向けての2030年への具体的な目標を立てて下さい。

これからもSDGsに向けて企業努力してゆかれるにあたり、更に「意思」を明確にしていきたいです。「低」炭素社会の実現に取り組んでいると思います。これからは徹底的に「脱」炭素社会の実現に向けて逆転のプログラムをつくって下さい。

「事業が、環境に良いインパクトを与える」という目標を立てることで、「こっちより、こっちのほうがいい」ではありません。是非、その目標に対して更に、具体的な数字で示したマイルストーンを置く“時期”と“数値目標”を立てて下さい。

最後に、キンカングループのビジネスで世界に違いを示して欲しいです。経済で社会や環境を変えてゆくんです。経済をフル活用して、社会や環境に好循環を与えていく。

「キンカングループはビジネスで、滋賀から世界へ〜」インパクトを与えてくださる事を楽しみにしています。



## 【グループ概要】

【会社名】 近畿環境保全株式会社(会社設立 1975年6月11日)

【代表者】 代表取締役社長 西村 忠浩

【資本金】 1,600万円

【所在地】 本社・管理本部 / 〒525-0041 滋賀県草津市青地町196番地  
 営業本部 / 〒525-0027 滋賀県草津市野村1丁目3番2号 SK社1-7 2-B  
 環境事業部 / 〒520-3114 滋賀県湖南市石部口三丁目6番13号

【会社名】 株式会社湖南リサイクルセンター(会社設立 2001年3月22日)

【代表者】 代表取締役 西村 忠浩、代表取締役 西村 美代子

【資本金】 1,000万円

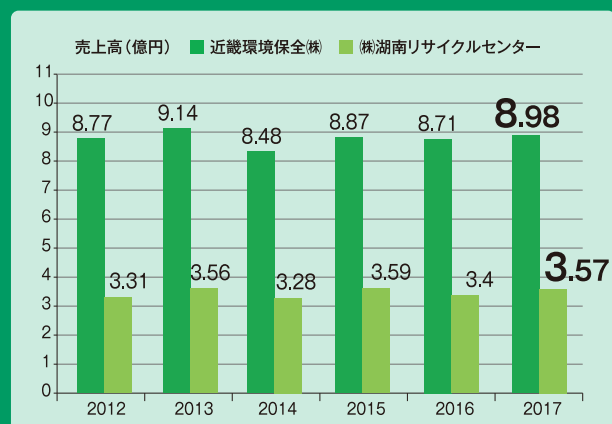
【所在地】 本社 / 〒520-3114 滋賀県湖南市石部口三丁目6番13号

【会社名】 有限会社ラゴ(会社設立 2005年1月12日)

【代表者】 代表取締役 西村 美代子

【資本金】 300万円

【所在地】 本社 / 〒525-0041 滋賀県草津市青地町196番地  
 京都営業所 / 〒601-8104 京都市南区上鳥羽角田町55-3



【業務内容】 産業廃棄物中間処理業 一般廃棄物中間処理業、  
 産業廃棄物収集運搬業 一般廃棄物収集運搬業、特別管理産業廃棄物収集運搬業、  
 資源物再生事業、建設解体業、リフォーム・外構工事、環境機器販売、  
 廃棄物全般のコンサルタント業務

【URL】 <http://www.kin-kan.co.jp>

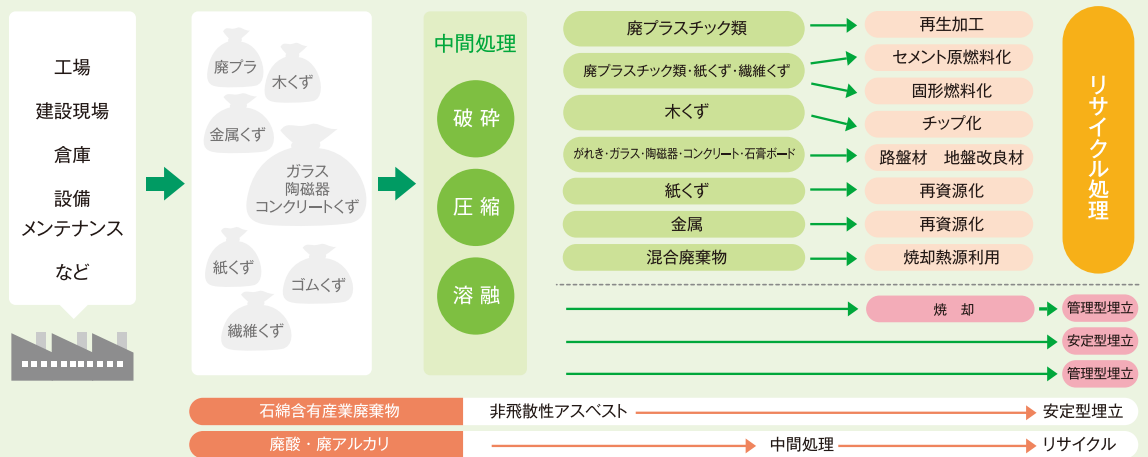
## 【事業概要】

当グループはお客様のニーズに応える為、多岐にわたる許可を取得し、収集から最終処分までを適切に管理しています。

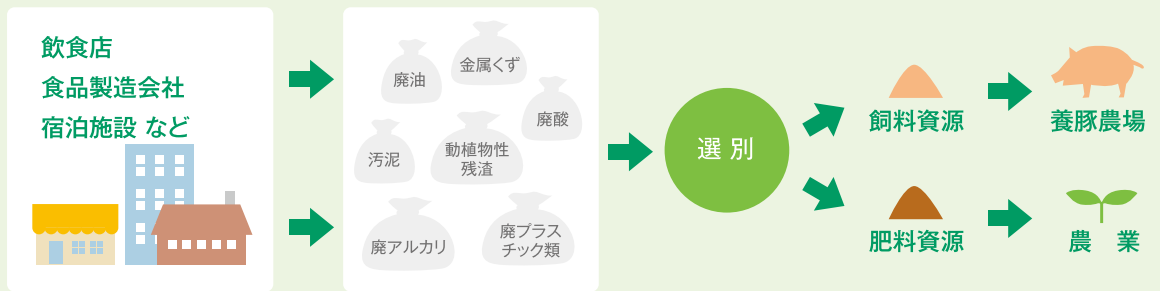
### 事業系一般廃棄物 (収集運搬)



### 産業廃棄物 (収集運搬・中間処理)



### 食品廃棄物 (収集運搬・中間処理)



### 特別管理産業廃棄物 (収集運搬)



### 企業・個人様向け 環境サービス

くらしスッキリ  
**らくピカ**  
by KINKAN GROUP  
ネットでかんたん申込 [らくピカ 検索](#)

家のおそうじ、庭のお手入れからリフォーム、T-POINT 解体までくらしのことなら何でもお任せ！  
貯まります。

#### 戸建解体

木造住宅やRC構造の住宅、また納屋や小屋といった小さな建物まで、自社処理場をもつ当社だから、一環処理でコスト削減しています。

#### ハウスクリーニング

水周りから高い所、様々な場所までクリーニングいたします。部分部分のセットプランもご用意しています。お得ですよ！

#### 庭のお手入れ

お庭のお手入れでお庭スッキリ！  
雑草処理から芝生管理、害虫駆除まで何でもします。

#### リフォーム

リフォームもおまかせください。  
水周りから内装・外装までどんな所もスッキリリフォーム！





## 【施設設備】

【ターゲット12.2】2030年までに天然資源の持続可能な管理および効率的な利用を達成する。

【ターゲット12.5】2030年までに、予防、削減、リサイクル、および再利用（リユース）により廃棄物の排出量を大幅に削減する。

【ターゲット11.6】2030年までに、大気質、自治体などによる廃棄物管理への特別な配慮などを通して、都市部の一人当たり環境影響を軽減する。

# 湖南リサイクルセンター（産業廃棄物 処理）



## 県下最大級の処理能力を有する工場



### 搬入・計量

廃プラスチック類 金属くず  
紙くず 木くず 繊維くず  
ガラス・陶磁器及びコンクリートくず  
がれき類 ゴムくず



### 異物確認

荷下ろし前に、許可以外の  
品目が混入していないか  
目視で確認



### 選別

細かな手選別により  
各リサイクルルートへ

## 再生利用

マテリアルリサイクル

## 圧縮

原燃料化リサイクル

## 破碎

サーマルリサイクル

株式会社湖南リサイクルセンターでは産業廃棄物、一般廃棄物の処理とリサイクルを行っています。廃プラスチック類、木くず、紙くず、繊維くず、ガラス・陶磁器・コンクリートくず、金属くずなど8品目を取り扱っています。適正な選別、中間処理を行い、マテリアルリサイクルやサーマルリサイクルに繋がります。また、お客様のニーズに合わせたリサイクル、処理を行います。



### 朝礼・ミーティング・終礼

「おはようございます、こんにちは、いらしゃいませ、ありがとうございました」で1日の業務が始まり、一人一人が声を出す事により、その日の仕事へのスイッチが入ります。

朝礼後のミーティングでは、各自その日のスケジュールを共有し、終礼では1日の出来事と反省点を話し合い、業務が円滑で安全に進むようにしています。日々朝礼やミーティング、終礼を行い、お客様にとって安心、安全な会社を目指しています。



### 重機・設備の点検

お客様からお預かりした廃棄物を適正に処理する施設や重機などは、事故や故障によってお客様にご迷惑をおかけしない為にも、毎日点検し、定期的にメンテナンスも行っています。

お客様が、湖南リサイクルセンターに廃棄物を出せば安心だと言ってもらえるように、私たちは日々努力しています。





搬入された廃棄物から  
有価物の金属・古紙・  
一部プラスチックを選別



有価物を圧縮等加工して  
国内外に売却しています。

マテリアルリサイクル  
できない廃プラスチック  
廃プラスチック類(塩ビを除く)



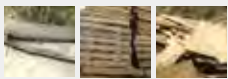
セメントリサイクルできない  
プラスチック、紙くず、  
繊維くず、また、その混合物  
廃プラスチック類、紙くず、  
繊維くず(塩ビを除く)



セメントにも、RPFにも  
適さない廃棄物  
廃プラスチック類、金属、  
木くず、紙くず等、  
混合物廃棄物、複合廃棄物



様々な状態の木くずを  
有効にリサイクル



純木パレット、梁、柱材、  
合板、腐敗パレット、生木、など



釘などの金属は磁力選別機により  
分けられます。



木くずを破砕してチップを製造します。

湖南リサイクルセンターに同設する木材チップ専用破砕施設では、種類ごとに搬入された木くずを、破砕施設によりチップ化します。木材チップは製紙原料や建材原料などに利用されています。原料として利用出来ないものは、バイオマスボイラーの燃料として活用しています。自然の恵みを有効に再利用することを目的に、木材のリサイクル率100%を目指しています。

## 廃棄となった製品の安心・安全な処理

各種製造メーカーの機密情報が詰まった製品を、解体、分別後、マテリアル・サーマルリサイクルで安全かつ安心のリサイクルを実現。確実な解体、破砕処理を行う事により、横流し等のリスクを排除。



**安全管理**

処理前、中、後の写真撮影と報告書を作成。



**安心処理**

突発的な廃棄にも対応できる処理能力と荷受け場所を保有。



15t 低床WING車  
2台保有

**安心対応**

突発的な多量の廃棄物にも、迅速に適正な車輛をご用意。



# 【物流部門】

## 近畿環境保全

### 最適な車輈を手配してお客様の元へ

当社では、万が一の事故を防ぐため出発前の事前チェックでドライバーの身だしなみや健康状態の確認・車輈の点検を行います。廃棄物の引取り後は、みまもりくんやGPS等の運行情報システムにより廃棄物の適正運搬及び安全運転管理を実現しています。お客様から委託された廃棄物は契約に基づき、品目や性状によって適正な処分先へと運搬します。



#### 朝礼・MT



#### 回収



高度運行情報システムで  
廃棄物の適正運搬及び  
安全運転を管理



KINKAN GROUP  
「湖南リサイクルセンター」へ

湖南RC

#### 事前チェック

- ✔ 免許・許可書
- ✔ マニフェスト
- ✔ 緊急事態マニュアル
- ✔ 健康状態のチェック
- ✔ 車輈の点検



協力業者

### 廃棄物に合わせた、運搬方法を提案

湖南リサイクルセンターで処理が出来ない廃棄物も  
協力業者とのパートナーシップにより、適正な処理先を提案します。

キンカングループが保有する運搬車輈は、お客様のニーズに幅広く対応できる充実のラインナップ。廃棄物の種類に合わせた多彩なコンテナと、最適な車輈を手配し、お客様のもとへ伺います。

#### 01 ユニック付平ボディ車 台数：4t(1台)



ユニックで釣り上げての積み込みが可能です。リフトをお持ちでないお客様にご活用いただいています。様々なコンテナの積み合わせや小コンテナの交換が可能です。

#### 02 15t 低床WING車 台数：15t(2台)



一度に多量の荷物を運ぶことができます。段積み、リフトでの積み込みが可能です。小コンテナやフレコンバッグなどの積み合わせにも適しています。

#### 03 平ボディ車 台数：9t(1台)



小コンテナやフレコンバッグなどの積み合わせが可能です。

#### 04 アームロール車 台数：10t(3台)、9t(3台)、4t(7台)、3t(1台)、2t(2台)



当グループのスタンダード車輈です。荷台がコンテナになっているので、そのまま降ろして設置できます。

#### 05 パッカー車 台数：9t(1台)、4t(8台)、3t(8台)



圧縮型の積み込み車輈です。重量が軽く圧縮できる廃棄物を大量に積み込むことができます。

計量器付き  
(7台)

環境への負担が少ない  
「天然ガス車」

#### 06 4tアルミウィング車 台数：4t(1台)パワーゲート付



木パレットやフレコンバッグなどの積み合わせが可能です。

#### 07 ユニック付アームロール車 台数：4t(1台)



ユニックで釣り上げての積み込みが可能です。リフトをお持ちでないお客様のもとで、コンテナの積み合わせや小コンテナの交換ができ、荷台のコンテナをそのまま設置することも可能です。

#### 08 3tアルミバン車 台数：3t(1台)



主に資源物の回収に使用しています。

#### 09 2tアルミ車、軽トラック車 台数：各2台



主に資源物の回収に使用しています。通幅の狭い住宅地など、小回りの効く回収ができます。

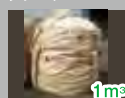
#### 10 冷蔵冷凍車 台数：3t(1台)



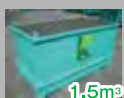
最適温度を保持する冷蔵車です。主に食品廃棄物の運搬に利用しています。

#### フレコン

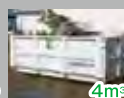
コンテナ  
一覧



1m³



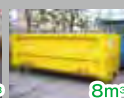
1.5m³



4m³



6m³



8m³

#### ふた付き



8m³



24m³

#### 食品回収BOX



150ℓ・500ℓ

#### 小口産廃回収BOX



60ℓ

# 【施設設備】

11 住み続けられるまちづくりを



12 つくる責任つかう責任



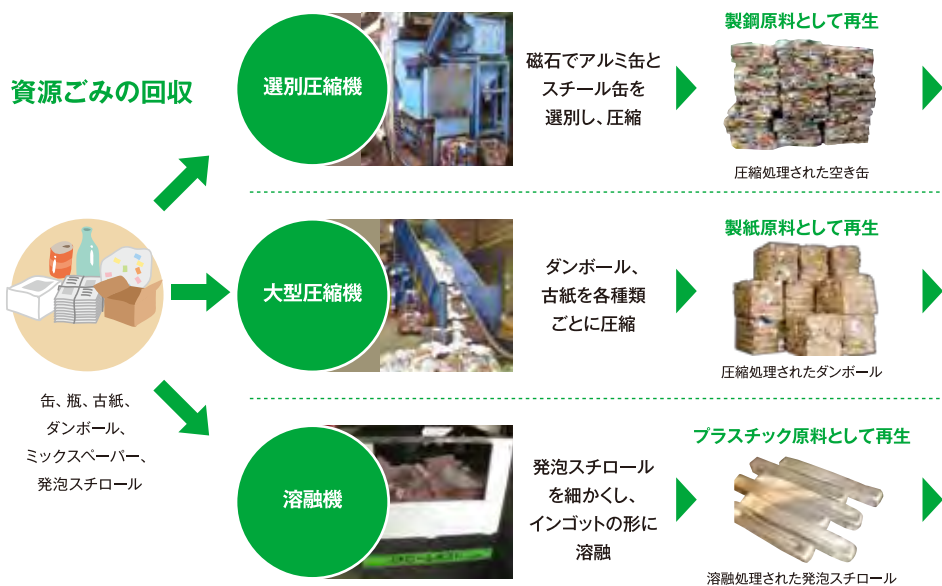
【ターゲット12.2】2030年までに天然資源の持続可能な管理および効率的な利用を達成する。  
 【ターゲット12.5】2030年までに、予防、削減、リサイクル、および再利用（リユース）により廃棄物の排出量を大幅に削減する。  
 【ターゲット11.6】2030年までに、大気質、自治体などによる廃棄物管理への特別な配慮などを通じて、都市部の一人当たり環境影響を軽減する。

## 〔資源物処理〕 資源循環センター



### 資源ごみのリサイクルステーション

ダンボールや古紙、空き缶、発泡スチロール等の資源ごみをリサイクルする再生施設です。可燃ごみの収集車とは別に2tアルミ車にて収集を行い、資源ごみを巡回回収しています。お客様の持込にも対応しております。



## 〔食品リサイクル工場〕 F.R.O.Gセンター

### 食品リサイクル・ループの実現を目指して

2013年に食品リサイクル工場、F.R.O.Gセンターを新設しました。F.R.O.Gセンターでは、食品の製造、流通、消費の各段階で生じる食品廃棄物を、飼料、肥料へとリサイクルしています。破袋・分別する事で商品としての価値を失くし確実に処理します。これまでゴミとして捨てられていた食品を、飼料や肥料として利用する事で、ごみ処理や環境への負担が軽減できます。また、廃棄物が減少することにより処理にかかるコストも削減できます。



廃棄となった製品も安心・安全に処理いたします。

### 安心処理



処理能力  
約12  
t/日

容器に入っているものや袋入りのものを分別して破袋



処理能力  
約36  
t/m

缶入飲料やペットボトル飲料を分別

### 安全管理



保管面積  
99.6  
㎡

保管スペースが大きいので大量に食品廃棄物を保管可能





キンカングループは、国連が採択した  
持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し、  
地域社会の発展に寄与していきます。

